

Ⅱ 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

(3) 命を大切にする心や思いやりの心をはぐくむ教育の推進

9 各種体験学習の推進

農林業やボランティア活動など各種体験活動を通して、自主性を養うとともに、人や自然とかがわることにより、社会性や思いやりを持てる子どもたちを育成します。

達成指標	「係活動等責任を持って行っている」と回答する児童生徒の割合 (上段:小学5年生、下段:中学2年生)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		88%	86%	88%	88%	B-
	86%	90%	86%	86%	A	
達成指標	職場体験学習を3日以上実施する中学校の割合 (Ⅱ-(4)に再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		83%	81%	83%	95%	B+
達成指標	職場体験学習を実施する中学校の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	100%	100%	100%	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(26)農山村留学の実施【指導課】						
小学校 6年生	小学6年生を対象に、長野県と県内で農山村留学を実施することにより、農林業の体験活動や多くの人たちとの交流を通じて、自主性・社会性を養成を図る。	47,065	42,672	[23年度の評価] 長野県で実施した県外農山村留学を23校で実施し、1,035名の児童が参加した。また、県内の施設を利用した農山村留学を、94校で実施し、7,905名の児童が参加した。 [24年度の実施計画] 県外で実施するものについては、充実した体験活動を維持・継続しながら、より効率的な事業を行えるよう、事業内容の見直しを進める。また、県内で実施(94校予定)するものについては、県内でもホームステイが実施できるよう、受入地域との調整を進める。	b	
(27)移動教室の実施【指導課】						
小学校 5年生	小学5年生を対象に、少年自然の家で2泊3日の宿泊体験を行うことにより、人や自然とのかかわりを通して、自立的な態度や社会性、思いやりの心の育成を図る。	18,744	16,188	[23年度の評価] 全学校の小学5年生を対象に、8,744名の児童が実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、全学校の小学5年生を対象に実施する予定である。	b	
(28)少年自然の家の運営【健全育成課】						
児童 生徒	集団で宿泊しながら行う自然体験活動や生活体験活動等を実施することにより、子どもたちの健全育成を図る。	813,855	814,571	[23年度の評価] 通年にわたり、現代的な教育課題へのプログラム、自然の家を使用するにあたっての説明会・体験会、青少年指導者養成、少年自然の家開放事業、利用促進事業を行った。 [24年度の実施計画] 引き続き、通年にわたって、現代的な教育課題へのプログラム等の提供等の事業を行う予定である。 なお、今後も利用者目線に立った、より質の高いサービスの提供を目指した運営を促進していく。	b	
(29)自然教室の実施【保健体育課】						
中学校 2年生	中学2年生を対象に「高原千葉村キャンプ場・青少年自然の家」で3泊4日の自然教室を実施することにより、生徒の心身ともに調和の取れた健全育成を図る。	31,662	27,201	[23年度の評価] 全市立中学校57校実施。豊かな自然環境の下で、規律ある集団生活を行いながら自然を生かした様々な体験学習を実施することにより、心身ともに調和の取れた健全な生徒の育成を図ることができた。 [24年度の実施計画] 全市立中学校で実施予定。より充実した自然教室となるよう、学校、千葉村や教育委員会が一層連携を図りながら実施していく。	b	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(30)小・中学校におけるキャリア教育の推進【指導課】<計画(42)の再掲>					
児童生徒	自己の進路を主体的に考え、適切な進路選択ができるよう、職場体験など、将来の生き方を考えるキャリア教育を実施することにより、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。	2,829	2,823	<p>[23年度の評価] 教育委員会に、「キャリア教育推進会議」を設置し、各学校の取組を調査、分析し、指針を示した。キャリア教育のための教材として、「わたしの夢」を中学1年生徒と担当教諭に、「ハロー・マイフューチャー」は中学3年生徒、担当教諭に配付し、授業で使用した。さらに、保護者啓発資料「子どもと共に考える進路」や工業高等学校の資料をウェブ配信した。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、「わたしの夢」「ハロー・マイフューチャー」を修正して配付するとともに保護者啓発資料をウェブ配信する。</p>	b
(31)ボランティア教育の推進【指導課】					
児童生徒	学校生活の中でボランティアに関する体験的な活動を経験させることにより、思いやりの心の育成を図る。	350	308	<p>[23年度の評価] 推進校として7校(小中台中・生浜中・誉田中・大宮中・花見川第二中・若松中・高浜中)を指定し、生徒会との連携を図りながら、学区の清掃や美化活動、プルタブの回収等の活動を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画] 推進校7中学校を指定し、各校の生徒会が中心となり地域と連携したボランティア活動を実施していく予定である。</p>	b
(31-2)子ども議会【指導課】					
児童生徒	「一人一人が生き生きと暮らせるまちづくり」に向けての提案・質問を行うことにより、子どもたちが千葉市の現状と課題を知るとともに千葉市民としての意識の向上を図る。	278	289	<p>[23年度の評価] 中・高校生議会として7月末に開催し、公募を含め66名の生徒が子ども議会議員として参加した。提案・質問と回答を生徒会交流会で紹介し、中学校の生徒会活動推進の参考とした。</p> <p>[24年度の実施計画] 小学生を対象とした議会を7月末に開催する予定である。参加者については公募を含め検討中である。</p>	b

10 道徳教育の充実

人とのかかわりや社会体験などさまざまな体験活動等を通して、道徳的な心情や判断力、実践する態度など、道徳的実践力を育て、人間尊重の精神をはぐくみます。

達成指標	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答する生徒の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		80%	未実施	82%	90%	
	千葉県独自の情報モラル教育カリキュラムを実践した学校の割合 (1-(2)の再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	71%	100%	100%	B+

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(32)人権教育の推進【指導課】						
児童生徒	人権教育担当者研究協議会や管理職特別研修会を通して、学校教育における人権教育の充実を図ることにより、自他の人権を尊重し、思いやりの心を持って公正・公平にふるまい、差別のない望ましい人間関係をもつ児童生徒の育成を図る。	20	20	[23年度の評価] 学校教育における人権教育の充実を図るため、市立小・中・特別支援学校の人権担当者を対象に研究協議会、管理職を対象に研修会を開催し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることのできる」児童生徒の育成に努めてきた。 [24年度の実施計画] 23年度同様、研究協議会や管理職研修を通して、人権意識の醸成を図る。	b	
(33)情報モラル教育の推進【教育センター】<計画(20)の再掲>						
児童生徒	情報モラル教育カリキュラム(カリキュラム・情報モラルコンテンツ・指導教材・実践事例等)を作成し、すべての小・中学校においてインターネットや携帯電話による人権の侵害に関する指導等を実施することにより、情報モラル教育の充実を図る。	0	0	[23年度の評価] 千葉県独自の情報モラルカリキュラムを、各学校が実践できるように、イントラネット上に整備するとともに、新Cabinet統合システムでの本格運用を開始した。 [24年度の実施計画] これまでの整備を受け、学校における情報モラル教育をさらに推進していきたい。	b	
(34)道徳教育用教材の作成【指導課】						
児童生徒	本市独自の道徳教育用教材の作成に向けて、調査研究を行うことにより、道徳教育の充実を図る。	644	645	[23年度の評価] 道徳教育用教材「千葉市に生きる」(小学校中学年用)を作成し、市内全小学校に40冊ずつ配布し、(H24年4月)各学校の年間指導計画に位置づけるようにした。 [24年度の実施計画] 小学校低学年用の道徳教育用教材を作成し、各校に40冊ずつ配布予定である。	b	

11 環境教育の推進

環境問題に主体的に対応できる人間を目指し、意欲的にかかわり、考え判断し、よりよい環境づくりや保全に配慮した行動が取れる子どもたちの態度をはぐくみます。

達成指標	環境の保全、生命の尊び、自然の大切さ等について、学校独自の内容で、学習を実施している学校数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	100%	100%	100%	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		

(35)環境教育教材の作成【環境保全課／指導課】

児童生徒	小・中学校の環境教育教材の作成・活用を図ることにより、環境教育を推進する。	2,000	2,000	<p>[23年度の評価]</p> <p>千葉県環境教育教材等作成会議設置要領に基づき、小・中学生を対象とした教材各10,000部を23年度末までに作成し、24年度の小学4年生及び中学1年生に配布するとともに、県子ども環境白書等の配付と活用を呼びかけを通して、環境学習の推進を図った。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>昨年と同様、小中学生を対象として教材の配布を行うほか、学校への指導・助言を通して、環境学習の充実を図る。</p>	b
------	---------------------------------------	-------	-------	--	---

(36)環境学習モデル校の指定【環境保全課／指導課】

児童生徒	環境学習のモデルとなる学校を選定し、児童の環境保全活動及び環境問題への取り組みを支援することにより、地球環境への意識向上を図る。	1,890	1,901	<p>[23年度の評価]</p> <p>各区ごとに、小・中学校1校を環境学習モデル校に指定し、環境学習を推進した。モデル校では、活動計画書を作成し、活動を行い、24年2月に、その成果を報告する場を設けた。また、各校の活動を活動実践集としてまとめ、他校への啓発を図った。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>環境学習モデル校を指定し、指導・助言を通して環境学習の充実を図る。</p>	b
------	--	-------	-------	--	---

(37)ごみ分別スクールの推進【廃棄物対策課／指導課】

児童	ごみの分別や排出ルールについて、児童自らが実際に目で見て手で触れる体験型プログラムの実施を推進することにより、ごみ減量等への意識向上を図る。	3,560	3,000	<p>[23年度の評価]</p> <p>市内の全小学校118校(市立小学校117校+千葉大学附属小学校)の4年生を対象に実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>市内小学校117校(市立小学校116校+千葉大学附属小学校)の4年生を対象に実施予定である。</p>	b
----	--	-------	-------	--	---

12 いじめ等問題行動への対応

不登校やいじめなどの悩み・不安に対して教育相談を実施することにより、その解消を図ります。

達成指標	全児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合 (上段:小学生、下段:中学生)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		0.20%	0.31%	0.25%	0.20%	C
	2.65%	2.56%	2.50%	2.50%	A	
	教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
46%	55%	47%	50%	A		

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(38)不登校やいじめに関する教育相談の実施【指導課/教育センター】<計画(165)に再掲>						
児童生徒 保護者 教職員	不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ保護者や児童生徒・教師などの相談に応じることにより、いじめ等の問題行動の対応を図る。	指導課分		[23年度の評価] 不登校対策の教育相談員が、小中学校各20校を訪問し、対応について指導や援助を行うとともに、生徒指導調査研究委員会を開催し、これまでに発行した資料の活用について指針を立てた。また、教職員への啓発活動を行った。 また、教育センターにおいて、悩みを持つ児童生徒や保護者に対し、来所相談や電話相談を行い、悩みや不安の解消を図った。 [24年度の実施計画] 引き続き、児童生徒の不適応感を未然に防ぐため、計画的な学校訪問や生徒指導調査研究委員会を通じて指導資料の作成や具体的な指導・支援を継続していくとともに、教育相談の一層の充実、教職員への支援を推進する。	b	
		2,730	2,761			
		教育センター分				
		28,356	28,257			
(39)スクールカウンセラーの配置【指導課】						
児童生徒	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するカウンセラーを学校に配置することにより、児童生徒等の悩みの解消を図る。	97,387	94,923	[23年度の評価] 児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するカウンセラーを学校に配置することにより、児童生徒等の悩みの軽減を図ることができた。23年度は、統合小学校3校にも配置し、一定の効果を得た。 [24年度の実施計画] 統合小学校1校及び全57中学校への配置を継続する。	b	
(40)スクールソーシャルワーカーの活用調査研究【指導課】						
児童生徒 保護者 教職員	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、児童生徒の問題行動への対応を図るため、福祉機関等の関係機関を活用して援助を行う専門家の活用方法等について調査研究を行うことにより、児童生徒等の悩みの解消を図る。	0	0	[23年度の評価] 他政令市の状況調査に止まり、実施はしていない。 [24年度の実施計画] 活用方法等について調査研究を行う。	c	
(41)ネット上のいじめへの対応【学事課/指導課/青少年サポートセンター】						
児童生徒 保護者 教職員	児童生徒への情報モラル教育を推進、教職員を対象としたインターネット等の利用に関する研修の充実、保護者への啓発により、インターネットに関連する問題の解決を図る。	0	0	[23年度の評価] ネット被害防止に関する調査を実施し、学校における実態を把握するとともに、生徒指導主任研修会において、情報モラル教育の推進に関する研修を実施した。 [24年度の実施計画] 上記研修を継続すると共に関係機関との連携を図り、問題解決を図れるようにする。	b	

(4) 夢や希望をはぐくむ教育の推進

13 将来の生き方を学ぶキャリア教育の推進

一人一人の子どもたちの個性の伸長を図りながら、社会的資質や態度を形成し、主体的に将来の生き方を考えることができる力をはぐくみます。

達成指標	職場体験学習を3日以上実施する 中学校の割合(Ⅱ-(3)の再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		83%	81%	83%	95%	B+
達成指標	高等学校卒業時の進路決定状況	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		80%	80%	83%	83%	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(42)小・中学校におけるキャリア教育の推進【指導課】<計画(30)に再掲>					
児童 生徒	自己の進路を主体的に考え、適切な進路選択ができるよう、職場体験など、将来の生き方を考えるキャリア教育を実施することにより、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。	2,829	2,823	<p>[23年度の評価] 教育委員会に、「キャリア教育推進会議」を設置し、各学校の取組を調査、分析し、指針を示した。キャリア教育のための教材として、「わたしの夢」を中学1年生徒と担当教諭に、「ハロー・マイフューチャー」は中学3年生徒、担当教諭に配付し、授業で使用した。さらに、保護者啓発資料「子どもと共に考える進路」や工業高等学校の資料をウェブ配信した。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、「わたしの夢」「ハロー・マイフューチャー」を修正して配付するとともに保護者啓発資料をウェブ配信する。</p>	b
(43)高等学校におけるキャリア教育の推進【市立高校】					
高校生	職場訪問や大学・研究機関の訪問、社会人による講演会などを実施することにより、将来何を学び、どのような仕事を目指していくかを考える機会の充実を図る。	0	0	<p>【市立千葉高校】 [23年度の評価] 大学模擬授業や卒業生の話を聞く会を実施し、生徒たちの上級学校への興味や関心を、大いに高める効果があった。インターンシップ事業には希望生徒26名が参加し、勤労観や職業観を醸成させる一助となった。社会人による講演では、下級生たちの社会に対する視野を広げる効果があった。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続きキャリア教育を推進する。 卒業生の話を聞く会(6月、3月)／千葉県庁、千葉県役所、朝日新聞社、千葉銀行などにおけるインターンシップ事業(夏季休業中) 大学出前事業(10月、11月)／社会人による講演会(12月、1月)</p> <p>【市立稲毛高校】 [23年度の評価] 2学年生徒を対象に、10大学10学部の大学講師による模擬授業を実施し、分野ごとの授業を体験することで今後の進路決定に向けての取り組みの動機づけとした。また、3学年生徒には、1人2大学計18大学に大学訪問を行い、キャンパスの特色や大学生活について実感させた。</p> <p>[24年度の実施計画] 引き続き、模擬授業や大学訪問を実施予定である。</p>	b

14 郷土の歴史と文化等を学ぶ機会の充実

郷土の歴史や文化についての理解を通し、千葉市民としての誇りや自信、郷土への愛着心をはぐくみます。

達成指標	埋蔵文化財調査センターの出前講座を利用する学校数(延べ数)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		57校	57校	60校	95校	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(44)地域教材の作成と活用【指導課】						
児童生徒	千葉市に関する社会科の補助教材を作成することにより、児童生徒が身近な地域である郷土千葉市の地域学習を行う際の整備を図る。	13,384	12,820	[23年度の評価] 小学校3・4年生が、千葉市の概要や市民の生活を支えるために働く人々について学習できるよう補助教材「わたしたちの千葉市」「すすむ千葉県」を配布、中学校生徒が主体的に地域学習に取り組めるよう補助教材「伸びゆく千葉市」を作成した。 [24年度の実施計画] 小・中ともに補助教材を部分改訂し、継続して配布する予定である。	b	
(45)埋蔵文化財を活用した出前授業【生涯学習振興課】						
児童	市内から出土した遺物等から原始・古代の地域の生活や歴史を学んだり、アクセサリづくりや火起し体験を行うことにより、古代の知恵を学ぶ機会を提供を図る。	1,200	1,741	[23年度の評価] 勾玉づくり、火起こし、土器・石器に触れる体験、古代組ひもづくりや、地域の歴史や文化財に関する講座を出前事業として実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、こうした出前事業を実施し、埋蔵文化財を通し、古代の知恵を学ぶ機会の提供を図っていく予定である。	b	
(46)博物館・美術館・埋蔵文化財調査センター等との連携【生涯学習振興課】<計画(23)の再掲>						
児童生徒	子どもたちが優れた文化財、美術品を鑑賞したり、美術館等で職場体験を行ったりする機会を提供することにより、各学校における社会をはじめとした各教科の学習の充実を図る。	0	0	[23年度の評価] 各館で職場体験事業を実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、職場体験事業を実施予定である。	b	
(47)「千葉市の農業」の配布と活用【農業経営支援課／指導課】						
小学校3年生	全小学校3年生を対象にした「千葉市の農業」をデータ提供し、授業で活用することにより、本市の農業の現況や農家の人たちの工夫などについて理解を図る。	0	0	[23年度の評価] 「千葉市の農業」を電子データに変更して配布し、これを利用して、千葉市のにんじん農家の仕事や働く人の工夫努力を学習した。 [24年度の実施計画] 引き続き、授業での有効活用を図り、千葉市の農業の現況や農家の人たちの工夫等について、理解を深めていく。	b	
(48)ふれあいパスポートの発行配布【企画課】						
児童生徒	市内に在住・在学する全小・中学生に「ふれあいパスポート」を配布することにより、市内の社会教育施設やスポーツ施設等を無料又は割引価格で利用できるようにし、子どもたちの学校外活動と夢づくりの支援を図る。	756	756	[23年度の評価] 市内の文化施設、スポーツ施設を対象とするふれあいパスポートを、千葉市内に在住・在学の児童生徒に配布した。この事業により、子どもたちが学校では体験できない文化、スポーツに触れる機会が広がっているものと評価している。 [24年度の実施計画] 引き続き、ふれあいパスポートを配布し、事業を進めていく。	b	

15 国際人を育てる国際理解教育の推進
48 国際交流の促進

外国語指導助手等による英語活動・語学指導を充実させ、国際化の進展に応じた国際理解教育を推進するとともに、コミュニケーションを図る能力や態度の育成に努めます。
海外の学校や市内のインターナショナルスクールの子どもたちとの交流活動を行うことで、異文化理解を深めます。

達成指標	「英語の勉強が好き」と肯定的に回答する生徒の割合(中学2年生)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		64%	61%	64%	70%	B-
達成指標	「英語活動が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合(小学5年生)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		93%	96%	96%	96%	A
達成指標	中高一貫教育校(市立稲毛高等学校・附属中学校)における高校2年時の実用英語技能検定(英検)2級の合格率	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	56%	100%	100%	B+
達成指標	海外の学校との交流活動を実施している学校数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		25校	20校	25校	30校	B+

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(49)小学校英語活動の推進【指導課】						
児童	外国の文化や生活習慣に親しむ体験的な外国語活動により、児童に豊かな国際感覚を身に付けさせるとともに、異文化理解の推進、コミュニケーション能力の育成を図る。	81,545	75,900	[23年度の評価] 英語を母語とする外国人講師を5・6年生の全学級に年間30時間配置し、学級担任との協同授業を、5時間は学級担任単独の授業を実施した。外国語活動で楽しく活動していると回答した5年生は96%と上がっており、効果が高い事業と考えている。 [24年度の実施計画] 小学校外国語活動での関心・意欲を中学校でも継続できるよう、学区中学校英語教員による外国語活動参観やカリキュラムの接続により、小・中の連携を推進する。	a	
(50)外国語指導助手(ALT)等の配置【指導課】						
中学生 高校生	全中学校・高等学校に外国語指導助手(ALT)等を配置することにより、英語のコミュニケーション能力の向上を図る。	80,758	77,330	[23年度の評価] 19名の外国語指導助手等を、全中学校・高等学校に配置し、英語科職員との協同授業を実施した。英語の勉強がよくわかると回答した中学2年生の割合は増加しており、効果が高い事業と考えている。 [24年度の実施計画] 19名の業務委託による外国人講師を配置し、さらなるコミュニケーション能力の向上を図る。	b	
(51)中高一貫教育校における英語教育の展開【市立稲毛高校附属中学校】						
市立稲毛 高校生	スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール事業の研究課題について継続研究を進めるとともに、中高一貫したシラバスの研究・作成等により、中高一貫教育校における英語教育の効果的な展開を図る。	14,630	14,689	[23年度の評価] 中高一貫教育目標である「真の国際人の育成」のため、ネイティブスピーカー(外国人講師)による授業を行った。 [24年度の実施計画] 引き続き、ネイティブスピーカーの授業を行っていく。	b	
(169)姉妹友好都市との交流【指導課】						
児童 生徒	海外の同等校と姉妹校・交流校提携を結び、相手校と児童生徒の作品や手紙等の交換を行うことにより、相互の異文化理解を向上を図る。	114	91	[23年度の評価] 小・中20校の海外の同等校と、児童生徒の作品や手紙等の交換を行うことで、相互の文化について理解を深めることができた。また、震災お見舞いカードでの交流や修学旅行での訪問交流も推進できた。 [24年度の実施計画] 作品や手紙等の交流を通して、異文化理解の推進を図りたい。	a	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(170)インターナショナルスクールとの連携【指導課】					
児童 生徒	幕張インターナショナルスクールの子どもたちと周辺学校の児童生徒との交流活動等について検討することにより、異文化理解の向上となる方策の進展を図る。	0	0	<p>[23年度の評価] 幕張インターナショナルスクールと周辺学校との交流活動等の可能性を探った。</p> <p>[24年度の実施計画] 幕張インターナショナルスクールとの交流活動等の可能性について情報収集を継続する。</p>	b

(5) 豊かな情操をはぐくむ教育の推進

16 読書活動の充実と読書習慣の定着

学校図書館指導員による個に応じた適切な図書のアドバイス等を通して、読書を楽しむ習慣の形成を図るとともに、調べ学習のための図書館環境を充実させ、生きる力と豊かな心の育成を図ります。

達成指標	児童生徒の一人あたり2週間の平均読書冊数 <small>(上段:小学生、下段:中学生)(I-(1)の再掲)</small>	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		15冊 7冊	15冊 6冊	15冊 6冊	15冊 8冊	A B+
	1週間にどのくらい読書をするかに対して「読まない」と回答する児童生徒の割合 <small>(上段:小学5年生、下段:中学2年生)(I-(1)の再掲)</small>	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		15% 13%	18% 18%	17% 17%	10% 10%	B+ C

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(52)学校図書館指導員による読書活動の充実推進【指導課】<計画(8)に再掲>					
児童生徒	学校図書館指導員が、児童生徒への適切な図書の紹介や図書館の環境整備、読み聞かせなどの取り組みを行うことにより、児童生徒の豊かな読書活動の推進を図る。	228,449	223,022	[23年度の評価] 学校図書館指導員が、研修の成果を生かし、様々な手法で、児童生徒へ適切な図書の紹介や読み聞かせなどの取り組みを行ったり、児童生徒の興味関心を引く手作りグッズを作成したりするなど、図書館における読書環境の整備を進めた。 [24年度の実施計画] 児童生徒の読書活動がさらに豊かに、活発になるよう図書館指導員の取組を充実させる。	b
(53)学校図書館図書の充実【指導課】<計画(9)に再掲>					
児童生徒	基本図書(図鑑・辞典類)、研究参考図書(調べ学習に対応できる図書)の購入を中心に、蔵書の充実を図ることにより、学校図書館図書の充実を図る。	83,705	81,128	[23年度の評価] 小学校の新学習指導要領の全面実施に伴い、新しく必要とされる図書の購入を計画的に行った。 [24年度の実施計画] 中学校の新学習指導要領の全面実施に伴い、新しく必要とされる図書の購入を計画的に行う予定である。	b
(54)朝読書の推進【指導課】<計画(10)に再掲>					
児童生徒	朝読書の習慣化を推進することにより、読書の習慣化、豊かな心の育成、基礎学力の向上を図る。	0	0	[23年度の評価] 朝読書の習慣化に加え、各教科等の学習の中で図書の活用を図ることで読書の幅が広がった。その結果、読書活動に結び付く学習活動が実施された。 [24年度の実施計画] 朝読書の習慣化により、1週間1冊も本を読まない児童生徒の減少に向けた取組を進める予定である。	b

17 図書館との連携推進

図書館と連携し、調べ学習や読書活動の充実を図ります。生きる力と豊かな心の育成を図ります。

達成指標	団体貸出用資料の貸出冊数 (学校専用貸出及び団体用貸出の計)(I-(2)に再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		21,000冊	20,891冊	21,500冊	23,000冊	B+
達成指標	子ども読書まつりの参加人数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		6,900人	8,399人	6,900人	6,900人	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(55)図書館図書の団体貸出の推進【中央図書館】<計画(25)に再掲>						
児童生徒	学校での調べ学習や朝読書等に必要な資料を収集し、提供するとともに、図書館のホームページで団体貸出用資料一覧の閲覧やレファレンスサービスの充実に努めることにより、子どもたちの読書活動の充実を図る。	1,740	1,740	[23年度の評価] 学校図書館へのリーフレット配布や夏休み見学会を実施し、団体貸出の利用促進を図った。また、調べ学習や朝読書等に必要な資料や、新しい教科書に出てくる本の収集・提供を行った。 [24年度の実施計画] 引き続き、調べ学習や朝読書等に必要な資料及び新しい教科書に出てくる本の収集・提供を図る。また、図書館のホームページに貸出可能冊数がわかる団体貸出用資料一覧の掲載を開始する。	b	
(56)図書館見学・職場体験やおはなし会の実施【中央図書館】						
児童	図書館内の見学・職場体験・おはなし会を実施することにより、子どもたちが図書館を身近に感じその役割や仕事の内容を学ぶことができる機会の提供を図る。	0	0	[23年度の評価] 図書館ホームページに図書館見学に関する情報の掲載を開始し、子どもたちの利用の促進を図った。 [24年度の実施計画] 小学生に対しては、図書館施設見学やおはなし会を実施し、中学生に対しては、職場体験を実施する予定である。	b	
(57)子ども読書まつりの実施【中央図書館】						
児童	アトリウムおはなし会や外国語のおはなし会等各種イベントを実施することにより、子どもたちが読書に興味・関心を持つことができる機会の提供を図る。	23	23	[23年度の評価] 学校や地域等と連携し、子ども読書活動に関する各種イベントを実施した。 [24年度の実施計画] 読書まつりを、中央図書館では10月20日(土)に実施し、地区図書館・分館では、10月下旬から11月上旬に実施する予定である。	b	

18 芸術文化等に親しむ活動の充実

優れた音楽や舞台芸術の鑑賞などを通して、子どもたちの豊かな感性と創造性をはぐくみます。生きる力と豊かな心の育成を図ります。

達成指標	オーケストラコンサート参加人数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		4,300人	4,300人	4,500人	4,900人	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		

(58)小・中学校音楽鑑賞教室、オーケストラコンサートの開催【指導課】

児童生徒	小・中学生を対象に「小・中学校音楽鑑賞教室」、「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を実施することにより、児童生徒の情操の涵養を図るとともに、音楽文化の振興と児童生徒の健全育成を図る。	9,016	168	<p>[23年度の評価]</p> <p>①「小・中学校音楽鑑賞教室」を、中学校10校で開催し、その際、近隣小学校6校も参加し、計5200人が鑑賞した。</p> <p>②「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を、千葉市民会館で2日間、5公演実施し、計4300人が鑑賞した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>①「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を、千葉市民会館で2日間実施予定である。</p> <p>②「小・中学校音楽鑑賞教室」は休止し、邦楽器体験及び邦楽器鑑賞教室を中学校で開催する予定である。さらに、オーケストラ、伝統音楽、声学アンサンブルなどの開催に向けて調査研究を進める。</p>	b
------	---	-------	-----	--	---

(59)本物の舞台芸術の体験【生涯学習振興課】

児童生徒	優れた舞台芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの豊かな感性と創造性の育成を図る。	0	0	<p>[23年度の評価]</p> <p>「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を実施予定である。</p>	b
------	--	---	---	--	---

(60)文化芸術に親しむ場の提供【文化振興課】

→ (60) 伝統文化を学び、伝統文化に触れる機会の充実 (61) 青少年ミュージカルの実施 (62)ふれあい音楽クリニック・コンサートの実施 を統合

青少年	青少年を対象に、様々な分野の文化芸術について、プロの芸術家の指導による体験講座と発表会を行い、青少年の情操の涵養と健全育成を図る。	7,950	5,450	<p>[23年度の評価]</p> <p>①「ふれあい音楽クリニック」を全3回実施し、中・高校生の吹奏楽選抜者計59名が参加した。また「ふれあい音楽コンサート」を10月1日に実施した。</p> <p>②「Love DANCE Live in CHIBA～SAM&Young－54' STREET～」として、ワークショップを全10回開催し、54名の参加があった。また、本番公演を、8月19日に実施した。</p> <p>③「TAIKO魂Cy with 鼓童“KODO”～太鼓の達人に挑戦～」として、ワークショップを全7回実施し、12名の参加があった。また、本番公演を2月12日に実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>①「ふれあい音楽クリニック・コンサート」として、中・高校生吹奏楽選抜者(約40名)を対象に、全3回のクリニックとコンサートを実施する予定である。</p> <p>②「Love DANCE Live in CHIBA～SAM&Young－60' STREET～ Evolution」として、青少年を対象にストリートダンスのワークショップと発表会を実施する予定である。</p> <p>③「ボイスパーカッションに挑戦(仮称)」として、青少年を対象にボイスパーカッションのワークショップと発表会を実施する予定である。</p>	
-----	---	-------	-------	---	--

(63)美術館での鑑賞教育の推進【文化振興課】

児童生徒	バスでの送迎と鑑賞プログラムの設置により、学校団体の利用を促し、子どもたちに美術鑑賞の機会を用意することにより、子どもたちの豊かな感性と創造性の育成を図る。	1,155	1,260	<p>[23年度の評価]</p> <p>市立小・中・特別支援学校20校を対象に実施した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>市立小・中・特別支援学校21校を対象に実施する予定である。</p>	b
------	--	-------	-------	--	---